

別紙様式 1

平成30年度 福祉文教委員会 第1回議会報告会

平成 31年 1月 30日

委員長 【 小林 恵美子 】

議 会 報 告 会 実 施 計 画 備 考	委員会 テーマ	高齢者福祉について		
	テーマ 設定目的	認知症予防・ケア対策について、行政視察報告後、4グループに分かれて「高齢化社会の現状と課題」をテーマにワークショップ方式で意見交換し、要望等を伺う。		
	対象団体	御殿場市民生・児童委員（高齢者部会）		
	調整事項	実施日	平成 31年 1月 24日（木）	
		時間	午前・午後 1時 30分 ～ 午前・午後 3時 00分	
		会場	市民会館 第4・第5・第6会議室	
		出席 予定者	福祉文教委員会委員 7名	
		事前準備	役割 分担	開会挨拶 委員長 司会進行 黒沢委員 行政視察報告 平松副委員長 写真撮影 土屋委員 PC操作 長田委員
	資料			
	その他			
画 備 考				

議 会 報 告 会 実 施 報 告 備 考	実施日時 出席者	実施日	平成 31年 1月 24日 (木)		
		時間	午前・午後 1時 30分 ～ 午前・午後 3時 00分		
		会場	市民会館 第4・第5・第6会議室		
		当日	福祉文教委員会委員 7名		
		出席者	介護福祉課課長・統括の2名 社会福祉課課長・統括の2名		
	実施内容 概 要	御殿場市民生委員児童委員協議会の高齢者部会の皆さまを対象に、行政視察による研修事項の基調報告後、4グループに分かれてワークショップを実施し、意見交換した。			
	報告書	報告書作成	小林 恵美子		詳細は別紙
		議会だより			原稿は別紙
備 考	配布した資料 1. 進行次第 2. 説明資料 3. アンケート用紙				

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 31 年 1 月 24 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 10 分	
開催場所	市民会館第 5 第 6 会議室（第 4 会議室）	
テ ー マ	高齢者福祉について	
出席議員	司会者	黒澤 佳壽子
	記録者	土屋 光行
	報告者	基調報告「認知症予防・ケア対策について」：平松 忠司
	その他	ワークショップのファシリテータと書記 A：本多丞次・平松忠司 B：土屋光行・黒澤佳壽子 C：田代耕一・長田文明 D：小林恵美子
参加人数	合計 36 名	
実施内容	「高齢者福祉について」を年間テーマとし、大分県由布市、竹田市、また富士宮市の「認知症対策」について行政視察した内容を基調報告した後、4 グループに分かれ、「高齢化社会の現状と課題」をテーマにワークショップを開催し、意見交換した。 ワークショップ意見交換内容 ① 民生委員の活動について（高齢者との関わり・認知証の方との関わり） ② ①-1 高齢者が困っていること ②-2 民生委員が困っていること ③ 市（議会）に対して望むこと	
主な意見 ・提言等	1、高齢者健やか事業について ・鍼灸・マッサージ・温泉等以外にも金券として使えるようにできないか。 2、交通手段について ・バス・タクシー利用助成金額の増額希望と利便性向上方法の検討。 ・地域内の狭い範囲での巡回バスがあれば便利だと思う。 3、情報提供について ・個人情報の提供と利用内容の明確にするため文章化してほしい。 4、認知症対策について ・特定健診事業の中に「認知症診断」を盛り込んでほしい。 その他、多数意見要望がありましたので、詳細は別紙にて報告します。	

以上のとおり、報告します。

平成 31 年 2 月 7 日

御殿場市議会議長 様

福祉文教委員会

委員長 小林 恵美子



御殿場市議会 福祉文教委員会 議会報告会

—民生委員児童委員の皆さまと共に—

平成31年1月24日(木)

13:30～15:00

御殿場市民会館3階会議室

一本日の次第一

1. 開会のあいさつ 委員長 小林 恵美子
2. 委員自己紹介
3. 基調報告 副委員長 平松 忠司
視察報告「認知症 予防とケアの対策について」
4. グループワーク
テーマ 「高齢化社会の現状と課題について」
5. 総 括
 - ・グループワークの結果発表 各ファシリテータ
 - ・総括といただいたご意見の活用について
小林委員長
6. 講 評
御殿場市民生委員児童委員協議会会長 佐藤 守 様
7. 閉会のあいさつ 委 員 田代 耕一

1. 開会のあいさつ

委員長 小林 恵美子

2. 委員自己紹介

委員長	小林	恵美子
副委員長	平松	忠司
委員	土屋	光行
	本多	丞次
	長田	文明
	黒澤	佳壽子
	田代	耕一

3. 基調報告

副委員長 平松忠司

今年度研究テーマ：「高齢者福祉」

視察報告「認知症 予防とケアの対策について」

(1) 認知症予防施策 大分県由布市 「健康立市 由布市」の取り組み

健康立市宣言（H25.3）

行政・市民・地域社会 一体で
「健康で明るく元気に暮らせる」

住みよいまちづくりを目指す

全ての住民が健康への意識を高め
健康づくりに自発的に取り組むまちへ!!

(1) 認知症予防施策 大分県由布市 「健康立市 由布市」推進事業 H25/4～

- 健康マイレージ事業
- お茶の間サロン
- シニアエクササイズリーダー養成講座
- 健康応援団派遣
- ラジオ体操の推進
- 水中運動教室
- 健康相談コーナー開設
- 食生活推進事業
- 健康事業効果検証

(1) 認知症予防施策 大分県由布市 「健康立市 由布市」推進事業 効果検証

事業参加者と何もしていない方の 医療費比較

- 水中運動教室 13,808円/月
- 介護予防事業 12,081円/月
- シニアエクササイズ 5,852円/月
- 総合型スポーツクラブ 22,342円/月

参加者の方がそれぞれ少ない！

(1) 認知症予防施策 大分県由布市 「健康立市 由布市」推進事業 効果検証

事業参加者と何もしていない方の 要介護認定率比較

- ・ 介護予防事業 3.582倍
- ・ シニアエクササイズ 2.888倍
- ・ 総合型スポーツクラブ 8.014倍

何もしていないの方がそれぞれ高い！

(2) 認知症ケア施策 大分県竹田市 「ささえ愛の地域づくり」を目指した 地域包括ケアの取り組み

— 少子高齢人口減少の中で —

	竹田市	御殿場市
• 総人口	22,211人	87,285人
• 高齢者人口	10,019人	22,058人
• 高齢化率	45.1%	22.98%
• 後期高齢化率	27.1%	
• 要介護認定率	19.0%	
	(H.30.3月末)	(H.29.1月末)

(2) 認知症ケア施策 大分県竹田市 「ささえ愛の地域づくり」を目指した 地域包括ケアの取り組み

— 少子高齢人口減少の中で — 徹底的な現状把握と将来人口推計の実施

- 2015年には既に肩車状態
- 今後、65歳以上の人口変化は小さい
⇒ 高齢化率は必ず頭打ちになる
- が、85歳以上の人口は増える
⇒ 医療・介護・生活支援の
ニーズ増大

(2) 認知症ケア施策 大分県竹田市 「ささえ愛の地域づくり」を目指した 地域包括ケアの取り組み

— 少子高齢人口減少の中で —

徹底的な現状把握と将来人口推計の実施

- 支える年代の市民が足りなくなる
- 介護事業対象者の4割は、廃用症候群
⇒ 「運動する」ことで防げる
- 認知症高齢者も増加
⇒ 一緒に「できること」を
やっていたく

(2) 認知症ケア施策 大分県竹田市 「ささえ愛の地域づくり」を目指した 地域包括ケアの取り組み

— 少子高齢人口減少の中で —

ささえ愛の地域づくりに向けた「発想の転換」

サービスづくり ⇒ 地域づくり

待 っ っ ⇒ 創り出す

個人の志 ⇒ 継続できる体制づくり

支援する側、される側 ⇒ できることを担う

目の前の問題 ⇒ 将来のために

行政は、

「個人や地域の**できる、したい**を支援」

(2) 認知症ケア施策 大分県竹田市 「ささえ愛の地域づくり」を目指した 地域包括ケアの取り組み

— 少子高齢人口減少の中で —

これからの取り組みと課題

地域づくり

- ・ 地域によって取り組みが異なり一律ではない
- ・ 連携、調整の役割は大変だが重要、不可欠

資源開発

- ・ 必要なサービスの再構築
- ・ 移動や買い物支援など新たな仕組みづくり

人材育成

- ・ 介護、看護人材不足
- ・ 地域の労働力不足

先の見えない
課題が・・・

(3) 静岡県富士宮市

「認知症になっても、変わらない生活ができるまち富士宮」をめざして!!

— 認知症を地域で支える取り組み —

個 別 支 援 の 充 実

認知症の人やその家族の視点の重視

住 民 主 体 の 活 動 支 援

(3) 静岡県富士宮市

「認知症になっても、変わらない生活ができるまち富士宮」をめざして!!

— 認知症を地域で支える取り組み —

認知症を 本人 ⇒ 医療 ⇒ 介護で完結させず
地域で生活するという流れを作り出す

- 地域住民が認知症の方の思いを理解する
- 認知症の方が集え、活動できる場所を増やす
- 認知症の方と地域を繋ぐ「橋渡し役」を増やす

3市での研修から

認知症の予防もケアも、受け止め、支える
地域づくり・ひとづくり!!

行政は、そのための
仕掛けづくりと支援に徹すること!!
**常にまちづくりの視点を忘れず
に!!**

私たち福祉文教委員は、
研修で学んだことを議会での質問や質疑、
政策提言のかたちで活かしていきます

3. 基調報告

視察報告「認知症 予防とケアの対策について」

ご清聴

ありがとうございました

**報告内容についての
ご質疑をお受けいたします**

4. グループワーク

テーマ：「高齢化社会の現状と課題について」

＜論点１＞ 民生委員児童委員の活動について
（高齢者との関わり、認知症の方との関わり）

＜論点２＞ 高齢者が困っていること
（活動の中で気が付いた高齢者が困っていること）

＜論点３＞ 民生委員児童委員が困っていること
（活動の中で感じる民生委員児童委員が困っていること）

＜論点４＞ 市（議会）に対して望むこと
（高齢者や民生委員児童委員の活動に関しての
市（議会）への意見・要望等）

時 間 : 14:00から14:40まで
会 場 :

グループ	会議室	ファシリテータ	書記
A	第5・6	本多委員	平松副委員長
B	第5・6	土屋委員	黒澤委員
C	第5・6	田代委員	長田委員
D	第4	小林委員長	事務局

民生委員児童委員の皆さまのグループ分けは、
本日の資料でご確認願います。

5. 総 括

テーマ：「高齢化社会の現状と課題について」

< a > グループワークの結果発表

（各グループのファシリテーターから 3分程度で）

< b > 総括といただいたご意見の活用について
（小林委員長）

6. 講 評

御殿場市民生委員児童委員協議会会長
佐藤 守 様

7. 閉会のあいさつ

田代 耕一

御殿場市議会 福祉文教委員会 議会報告会

—民生委員児童委員の皆さまと共に—

本日は、ご出席
ありがとうございました